



未来のために今こそ、 抗菌薬（抗生物質）の適正使用！

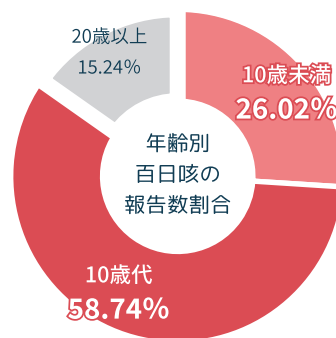
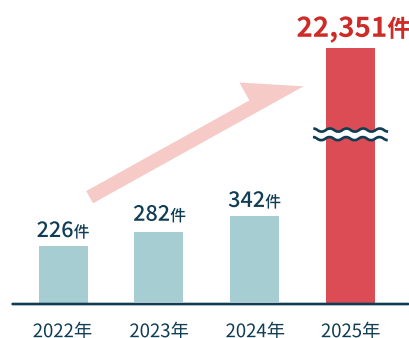
このお知らせは、今後も安心して医療を受けるために役立つ情報の提供を目的としています。

今、お子さんを中心に「百日咳」がとてども増えています

2025年度に入って過去最多レベルの勢いで「百日咳」が急増しています。

特に心配なのは、その「**半分以上が20歳未満のお子さん**」だということです。

■ 第1～第21週における百日咳の累積報告数



百日咳には、
抗菌薬による治療が
検討されます

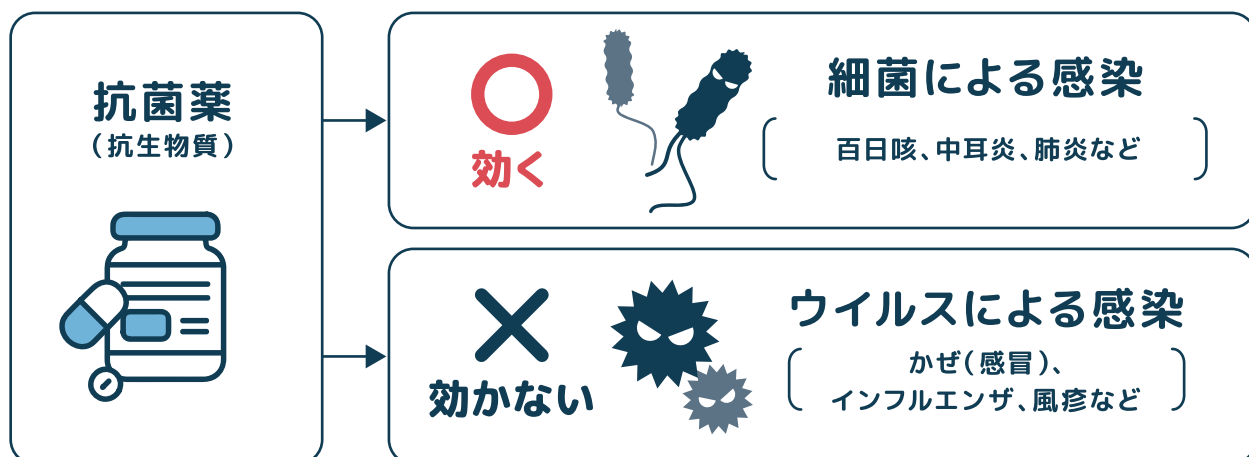
出典：IDWR 2025年第22号＜注目すべき感染症＞ 百日咳 / 国立健康危機管理研究機構感染者情報提供サイト（JHS）



この機会に「抗菌薬」の正しい使い方を知っておきましょう

抗菌薬（抗生物質）ってどんな薬？

抗菌薬は、「抗生剤」、「抗生物質」とも呼ばれ、「細菌」を壊したり、増えるのを抑えたりする薬です。
百日咳、中耳炎、肺炎など、細菌が原因の病気を治します。



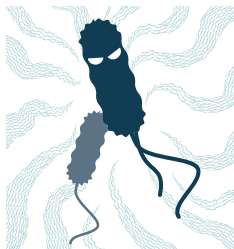
鼻水、のどの痛み、咳といった症状の「かぜ」の多くはウイルスが原因です。
ウイルスには抗菌薬は効きません。

抗菌薬が効かなくなる!?「薬剤耐性」とは

お薬（抗菌薬）が効かなくなるのはどうして？

誤った使用で薬剤耐性菌が発生

お薬を飲むことを途中でやめたり、かぜなどの必要のないときに飲んだりすると、抗菌薬が効かない、もしくは効きにくい細菌（薬剤耐性菌）が増えてしまうためです。



薬剤耐性菌が増えるとどうなるの？

細菌性の病気が治りにくなる

「薬剤耐性菌」が増えると、抗菌薬が効きにくくなり、細菌性の病気だけでなく、他の病気の治療にも影響がでます。



薬剤耐性菌を防ぐ！今日からできる3つのこと

薬剤耐性菌は、みんなで注意することで、広がりを防ぐことができます。

不安やわからないことはまず医師や薬剤師に相談しましょう。

お薬は 必ず「飲み切る」

症状が良くなっても、菌はまだ体に残っています。途中でやめたりせず、医師の指示通りに飲みましょう。



お薬は 「あげない・もらわない」

抗菌薬の処方には医師の診断が必要です。自己判断での使用は薬剤耐性菌の原因になります。



普段からしっかり 「手洗い・うがい」

手洗いやうがい、マスク着用など、基本的な衛生管理を徹底し、病気を予防しましょう。



かしこく治して、明日につなぐ
～抗菌薬を上手に使うってAMR対策～

国立健康危機管理研究機構
AMR臨床リファレンスセンター

※二次元コードを読み込むとWEBサイトに繋がります。



本通知のお問い合わせ先

委託事業者：株式会社メディアラート

電話番号：0120-213-056

受付時間：平日10時00分～12時00分、
13時00分～17時00分
（土・日・祝日を除く）